町会だより

姉崎台町会・天神山古墳紹介

菅原神社総代　刈米 敏機



◆姉崎天神山古墳

姉崎地区を中心とした養老川下流流域には、大型の前方後円墳９基を含む多数の古墳が存在します。

これらは主に姉崎古墳群と総称されますが、姉崎天神山古墳は、これらに含まれた群中最大規模を持つ前方後円墳です。この地域に出現した豪族の盛衰を解明する上で重要な古墳となるものです。

◆古墳の上に神社

墳丘のくびれ部に菅原神社の祠が鎮座するため、古くから「天神山」と呼称されていました。 毎年2月25日には、社殿に幕を張り祭礼を実施しています。また、桜の木が地元の関係者により植えられており、昔は町会主催で百名を超す参加者を迎えて観桜会が開催されておりました。今はコロナ禍から開催されておりません。

◆鳥居再建

令和元年房総半島台風により神社の鳥居が損壊してしまいました。心安らぐ道しるべである鳥居の復興に際し、昨年度、安寧を祈り、再建の趣旨に賛同された氏子及び地元企業の多大なる寄付により、令和7年1月に再建することができました。心から感謝しております。



近くに来られた際はお寄りください。

サークル探訪

大正琴グループ「琴の音」

講師　長峰 美恵子



私達琴の音ボランティアグループは、大正琴を使用して高齢者施設の訪問や地域老人会の皆様、及び地区社協行事の交流で楽しく活動しています。会場では童謡、唱歌、歌謡曲を披露し、皆さんが大きな声で楽しそうに歌っている姿を見ると頑張って練習した努力が報われます。

大正琴にはソプラノ、アルト、テナー、ベースのパートがあり、夫々の音が重なり合い美しいハーモニーが生まれます。また大正琴は右手と左手の動きが違うので、脳トレに良いと聞きます。

毎週月曜の午後アネッサでお待ちしています。皆さん一緒に演奏しませんか♪(^^



ミニコラム

水面を渡る風に早苗がそよぐ風景は初夏の到来を感じさせてくれます。早くも夏の気配に、「今年の夏は猛暑にならないように」と思う此の頃です。

米価に代表される物価高が私たちの生活を脅かし、高齢者や子育て世代への影響が大変心配されます。今年の新米の収穫量増に期待する処ですが、それにしても放出備蓄米の行方の謎と現状の米騒動に過去の減反政策は一体何だったのかと思うのは私だけでしょうか。

米国からの米の輸入と関税対策に対する不安、更に減税や交付金の配布と言った国会の議論は福祉政策への影響や負担の先送りとなることが心配され、国民が安心して生活できる政策を実施してほしいものです。

厳しい状況下ではありますが、熱中症対策を万全に乗り切っていきましょう。

ⓕ

姉崎地区町会長会メンバー

地区	No.	役職名	町会名	町会長名（新任青色）
椎津	1		椎津新田	蛭田　松文
	2		椎津台	福田　光雄
	3		椎津南町	鳥飼　一男
	4		椎津仲町	三澤　孝光
	5	監事	下田	田丸　一
	6		駒ケ崎	加瀬　宏
	7		城山	岡地　秀行
	8		川田	田中　文夫
下町・富士見	9		新町	大胡　源史
	10		姉崎仲町	小泉　一明
	11	副会長	富士見第1	斉藤　義人
	12		富士見第2	斎藤　友里
	13		富士見第3	近藤　栄一
上町	14		本町	坂本　浩成
	15	会長	新宿	桃尾　英宣
	16		養老町	在原　弘一
	17		砂子	吉原　博邦
宮本	18		姉崎台	刈米　敏機
	19	会計	山新	佐久間保男
	20		山新南町	小出　紀幸
	21		畑木	大森　豊
	22		台下第一	池田　利幸
	23		姉崎住宅	池尾　興子
青葉台A	24		青葉台1丁目	齋藤　研吾
	25		青葉台2丁目	高倉　豊
	26	監事	青葉台3丁目	古寺　純爾
	27		青葉台4丁目	渋谷　典知
	28		青葉台5丁目	石井　聡
青葉台B	29	監事	青葉台6丁目	畔上　佳之
	30		青葉台7丁目	木本　浩一
	31		青葉台8丁目	齊藤　恵子
	32		ダイアパレス	黒川　実男
		代表顧問	前地区会長	廣瀬　保夫

ご寄付ありがとうございます

社協開催事業にさまざまな食材のご提供をいただき、ありがとうございます。

匿名にて地区社協活動に多額の寄付金、及び多くの方からお米、野菜等を頂きました。

姉崎地区社会福祉協議会HPのQR

市原市の防災・災害Web HPのQR

姉崎地区（前年同期比）

世帯数	12,695 世帯	(+99)
人　口	23,761 人	(-226)
男	12,335 人	(-120)
女	11,426 人	(-106)

令和7年4月1日現在・千種地区除く

そよ風

発　行
姉崎地区社会福祉協議会
発行責任者　会長　黒川 実男
編集者　広報部会
事務局　姉崎保健福祉センター内
TEL　0436(62)8601

共につながり共に支え合い

姉崎地区社会福祉協議会会長　黒川 実男



姉崎地区社協会長の職責を担って5年、私達は地域の皆さんが支え合って安心・安全な地域共生社会の実現を目指し、市社協西部地区担当の皆様及び姉崎地区社協協力者の皆様と一緒に活動を行い他地区社協の活動に辿り着くことが出来ました。

しかしながら、地域社会・福祉を取り巻く環境は、大きく変化、住民同士や地域間の繋がりが希薄になるなど、親の介護と育児のダブルケアや、18歳未満の子がケアするヤングケアラー、90代の親が60代の子を支える９０６０問題等が増幅し、少子高齢化や人口減少により、高齢者と子育て世代の孤立・孤独化へと個人や世帯が抱える複合的な課題が顕在化しています。その要因としては、地域福祉を支える担い手が減少し、地域の支え合う機能が低下していると実感しています。

また多くの課題が複雑化する現在、高齢者や障害者及び生活困窮者や日常生活の心配事を持つ方達へ「支える側、支えられる側」という垣根を越え、人と社会がつながり、一人ひとりが役割を持ち、困ったときはお互い様のように助け合える、より良い地域共生社会の実現を目指して、福祉活動を手伝って頂ける方を募集するなど、多くの皆様と一緒に取り組んでいきます。

これまでの活動を継承し、課題対応策を今年度作成の第３次地区行動計画に反映してまいります。



地区社協新理事紹介

役職名	氏　名	所属団体
会　長	黒川　実男	青葉台小小域福祉NW
副会長	川上　孝江	民生児童委員協議会
副会長	水田　葉子	子育て家庭支援員協議会
事業部長	川又　昇造	明神小小域福祉NW
事業担当	田丸　榮一	姉崎小小域福祉NW
〃	田丸　惠子	民生児童委員協議会
〃	佐久間　勝之	民生児童委員協議会
〃	小林　泰生	民生児童委員協議会
〃	小林　照子	更生保護女性会
渉外担当	桃尾　英宣	姉崎地区町会長会
会計担当	藤沢　朝代	子育て家庭支援員協議会
事務担当	安藤　敏子	民生児童委員協議会
理　事	大山　加代子	民生児童委員協議会
〃	鳥飼　洋子	〃
〃	斉藤　義人	姉崎地区町会長会
〃	佐久間　保男	〃
〃	田丸　一	〃
〃	古寺　純爾	〃
〃	畔上　佳之	〃
〃	早坂　貴子	子育て家庭支援員協議会
〃	倉持　美枝子	更生保護女性会
〃	倉持　知子	食生活改善協議会
〃	齋藤　榮志	戦没者遺族会
〃	田丸　公臣	青少年相談員連絡協議会
〃	中島　光孝	地域包括支援センターたいよう
〃	高澤　菜央美	地域包括支援センターあねさき
〃	三浦　康之	企業（日本板硝子）
〃	藤井　研司	地域行政機関（姉崎支所）
〃	榎本　裕	姉崎公民館
監　事	藤城　信廣	地域福祉活動実践者
〃	齋藤　浩子	姉崎小小域福祉NW

包括支援センターあねさき開設

管理者　高澤 菜央美

令和7年4月1日に姉崎に開設しました「市原市地域包括支援センターあねさき」です。

当センターは、姉崎地区（一部を除く）を担当している総合相談機関です。皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員・精神保健福祉士などの専門職がさまざまな福祉の相談に応じ、サービスや制度、地域の情報をご案内したり、内容に応じ適切な支援機関につなぐなど、各機関と連携を取りながら幅広い支援を行っています。

世代や分野を問わずどんなご相談にも対応しておりますので、介護のこと、医療や健康のこと、ご家族のこと、生活の心配ごとなど、どこに相談したらいいのかわからない場合は、お気軽にご相談ください。



所在：市原市姉崎581-15（ＪＡ姉崎隣り）
電話：0436-37-2151
営業時間：月曜日～土曜日8：30～17：00
（年末年始・日曜・祝日は休み）

姉崎地区社会福祉協議会の主な事業計画

ニコニコサロン「共生型サロン」，（第4水曜日：受付10時～）
会場：アネッサ体育室

開催予定日		行 事 内 容　10: 15～11: 30
R7年	7月23日	軽体操・キッズボランティアと遊ぼう
〃	8月	夏休み
〃	9月24日	軽体操・ＯＹＧ組　**（会場は研修室）**
〃	10月22日	脳トレピアノ教室
〃	11月	福祉バザー開催月のため休み
〃	12月24日	軽体操・なんちゃってネーネーズ
R8年	1月28日	軽体操・ビンゴ大会
〃	2月25日	軽体操・ＯＹＧ組
〃	3月25日	軽体操・琴の音

子育てサロン講座（第3金曜日）会場：姉崎公民館

開催予定日		行 事 内 容　10: 30～11: 30	備　考
R7年	7月18日	手形をペッタン！	研修室
〃	8月	夏休み	―
〃	9月19日	親子リトミック♪（生後半年以上の子）	研修室
〃	10月17日	体育室で自由遊び！走り回ろう	体育室
〃	11月21日	クリスマスオーナメントを作ろう！	研修室
〃	12月19日	☆クリスマス会☆	研修室
R8年	1月16日	３B体操を親子で体験！	和室
〃	2月20日	ベビーマッサージ（就学前の子）	和室
〃	3月13日	わくわくミニコンサート**（第２金曜日）**	研修室

広報紙　「そよ風」　（年2回発行）

R7年	7月1日	「そよ風」62号発行
〃	12月10日	「そよ風」63号発行

げんき食堂アネッサ　（土曜日１０：００～１３：００　）

開催予定日	7/26　9/27　10/25　12/13　1/24　2/28　3/28
開催場所	ボランティアルーム、実習室、調理実習室

あそびばアネッサ　（土曜日１０：００～１３：００　）

開催予定日	12月13日
開催場所	アネッサ
＊12月13日は、げんき食堂とあそびばアネッサ合同開催	

福祉バザーの開催予定　11月23日（祝・日）

＊事業等でご不明な点は、アネッサ事務局へお問い合わせ下さい。

相談支援事業

◆「相談コーナー」衣替えで再出発！



7月からの姉崎地区社協主催事業開催時（各サロンやげんき食堂、あそび場、姉チョコ、制服リユース、福祉バザー等）に「相談コーナー」を設置し、担当事業スタッフが別室にて、“皆様の悩み、心配ごと、支援ごと”等を聴き取り行なって、専門家へ繋げ解決へ導きます。

地区社協スタッフへ気軽に何時でもご相談下さい。



令和６年度決算		（円）
収入の部	繰越金	881, 488
	市社協支出金	1, 046, 400
	地区社協推進事業補助金	310, 500
	賛助会費収入	0
	寄付金収入	22, 200
	雑収入	33, 010
	合計　①	2, 293, 598
支出の部	運営費	238, 272
	基本事業費	430, 616
	先駆的事業費	6, 090
	子どもの居場所づくり事業	148, 327
	日常生活支援事業	93, 487
	地域福祉支援事業	75, 971
	第２層協議体運営費	161, 273
	地区社協運営経費	19, 380
	自主事業費	0
	共済事業費	390, 000
	新規事業費	0
	予備費	0
	合計　②	1, 563, 416
次年度繰越金（①－②）		730, 182

令和７年度予算		（円）
収入の部	繰越金	730, 182
	市社協支出金	1, 232, 400
	地域社協推進事業補助金	347, 522
	賛助会費収入	0
	寄付金収入	10, 000
	雑収入	140, 100
	合計	2, 460, 204
支出の部	運営費	310, 000
	基本事業費　（＊1）	660, 000
	先駆的事業費　（＊2）	90, 000
	子どもの居場所づくり事業	200, 000
	日常生活支援事業	160, 000
	地域福祉支援事業	100, 000
	第２層協議体運営費　（＊3）	160, 000
	地区社協運営経費	160, 000
	自主事業費　（＊4）	200, 000
	共済事業費　（＊5）	410, 000
	新規事業費	0
	予備費	10, 204
	合計	2, 460, 204

＊1 各部会や福祉バザー等の活動費
＊2 新しく取り組む事業に配分される予算（災害支援事業、制服リユース事業など）
＊3 第１層の市社協に対し、地区社協を２層とした生活支援等サービスの提供体制の構築費
＊4 地区社協主催研修費
＊5 地区社協を構成する12団体（子育て、体育振興、小域福祉等）への活動助成金

アネッサ人事異動です



◆新入職員：東山　銀志
有秋地区社協を担当します。
宜しくお願いします。

◆嘱託職員：三宅　邦子
アネッサ事業運営業務を担当します。
宜しくお願いします。

アネッサが福祉避難所となる

市社協姉崎地区担当
塩野谷 夏基

皆さん福祉避難所を御存知ですか！アネッサにおける福祉避難所について紹介します。

◆福祉避難所とは

災害発生時に一般の指定避難所（公民館や学校）では生活する事が困難な要配慮者の避難施設です。市原市には高齢者福祉法人等と提携した福祉避難所が複数あり、アネッサは姉崎・有秋・千種地域を対象とした福祉避難所のひとつです。

◆福祉避難所受け入れ対象者

一般避難所では避難生活を過ごすことが出来ないと判断された「高齢者、障がいのある方、妊産婦者、乳幼児、重疾病者」などの＊要配慮者が対象となります。

（＊要配慮者とは、災害の危険から身を守ることに何らかの困難を抱え周囲の支援が必要になる人）

◆福祉避難所はいつ開設？

アネッサは、平常時は保健福祉活動の拠点として運営しています。

災害が発生した場合、市原市災害対策本部の指示のもと、施設の安全確保や職員の配置等が可能となった場合に福祉避難所が開設されます。

したがって、災害発生時に一般避難所が開設された後、一般避難所での対応が出来ないと判断した場合に要配慮対象者の避難所として開設されます。

◆福祉避難所利用可能判断

誰でもが自由に利用出来ません。利用の判断は、市役所担当課が各福祉避難所の被災状況や、要配慮者の状況等を確認した後、福祉避難所に避難していただくか判断します。



◆福祉避難所開設訓練の状況

市社協西部エリア担当職員を講師として、有秋・千種地区社協と合同開催しました。

また、本年2月11日には、アネッサにおいて地震を想定した福祉避難所の開設訓練を市社協及び３地区社協により、「避難者の受け入れ、食糧など物資の調達・搬送、簡易ベッドの組み立て、要配慮者への声掛け」などを実施しました。

◆お願い

福祉避難所は、少人数での運営は困難です。ボランティアの皆様の協力をお待ちしています。





認知症ＰＲイベント「ＲＵＮ伴」への参加！

姉小区小域福祉ネットワーク
副会長　田丸 浩

「ＲＵＮ伴（ランとも）」とは「認知症になっても安心して暮らせるまちをつくる」という理念のもとに、認知症の人や家族、支援者、一般の人が少しずつリレーをしながら一つのタスキをつなぎ、ゴールを目指すイベントです。

私たちの暮らす地域の人達と出会い、お互いをもっと知り合うことで認知症について考える機会とし、その為のＰＲの一環としてこの活動は2011年にスタートしました。



今では全国すべての都道府県で地域ごとにオレンジ色のＴシャツを着て活動に参加、2017年からは台湾でも開催され、海外にも広がりつつある運動となっています。

私たちの姉小ネットワークでも2017年から参加、コロナ禍での３年間の中止以外は毎年15名前後の参加で、他の多くの参加者の皆様との交流を深めています。実際の内容は、活動場所としては初年度と現在は更級公園の周回ルートでランニング又はウォーキングで数名のチーム毎に分かれて会場内を周回。過去には市原市役所から山倉ダムを一周して戻る市街地区域でも行われ、多くの市民の方に見て応援をしていただきました。



最初の参加から今年で８年目を迎えるＲＵＮ伴。沢山の方と力を合わせ、日本全国の町をオレンジ色（オレンジ色は認知症の人にやさしい町のテーマカラーです）に染めていきましょう。地域に暮らす人達がお互いを知り、それぞれが考え、そして同じビジョンを描きながら繋がり合う事から始まるものと考えています。

お互いにもっと知り合うことで、認知症について考える機会としましょう。

今年も9月28日（日）更級公園にて開催予定ですので、各校区のネットワークを通じてのご参加をお待ちしております。

